



日本住を快適空間!

ダンネット通信

2011.Winter vol.71

発行：株式会社ダンネット 〒070-8045 北海道旭川市忠和5条4丁目9-17 TEL(0166)61-9151・FAX(0166)61-2044

今月のトピックス

平成23年度住宅政策のポイント

平成23年度政府予算案が閣議決定されたのを受け、国土交通省ではこのほど各施策等をまとめた予算概要を発表しました。それによると、住宅関連では①環境に優しい住宅・建築物の整備促進②中古住宅・リフォーム市場の整備③住宅・建築物の安全・安心の確保④高齢者等が安心して暮らすことができる住まいの確保—の4つが柱となっており、それぞれ補助事業などの支援策が盛り込まれています。今回はそれらの概要について紹介します。

中古住宅のリフォームに新たな補助

まず、①環境に優しい木造住宅・建築物の支援については、前年度同様に長期優良住宅・省CO₂の先導的プロジェクトに対する補助事業や、中小住宅会社による木造の長期優良住宅に補助（前年度は最大100～120万円）を行う「木のいえ整備促進事業」などを実施。木造住宅の施工能力向上や技術の継承に対する支援も計画されています。

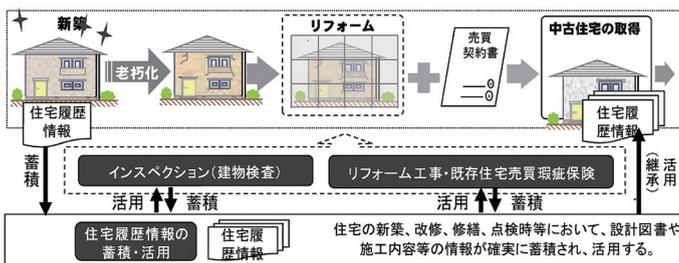
②中古住宅・リフォーム市場の整備では、中古住宅の売買とあわせて建物検査や質向上リフォーム、瑕疵保険加入、住宅履歴情報の蓄積などを行う場合に、その費用を補助する事業を新たに創設。消費者相談体制の強化や、確認審査の迅速化など建築基準法関連の制度見直し等も進める考えです。

サービス付き高齢者住宅など支援

③住宅・建築物の安全・安心の確保は、国と地方自治体あわせ15.2%から23%にしている耐震改修の補助率引き上げを平成24年度まで延長す

ることなどが盛り込まれています。

④高齢者等が安心して暮らすことができる住まいの確保では、高齢者や障がい者、子育て世帯などに配慮した住宅セーフティネットを充実。一定の基準を満たすサービス付き高齢者向け住宅などに、住宅金融支援機構の融資の担保要件緩和等を行う予定です。



省エネ改修等の減税は継続

このほか、税制改正では工事費用等の10%、最大20万円を所得税から控除する省エネ改修とバリアフリー改修の所得

税減税を平成24年12月31日まで延長し、同じ内容の耐震リフォームの所得税減税は適用区域を全国に拡大。ただ、省エネ改修は補助金等の支給額を対象工事費用から控除し、バリアフリーリフォームは最大控除額が平成24年度は15万円となります。

これらの情報はエンドユーザーにとって受注の後押しにもなるので、今のうちからしっかり内容を把握しておくといいでしょ。

特集

今年の「ダンネット」はココに注目! ~ 2011年も頑張ります~

全国で新設住宅着工数が80万戸割れとなった一昨年から、緩やかながら回復軌道に乗りつつある日本の住宅市場。これはハウスメーカー様・工務店様が頑張っているからにはほかなりませんが、ダンネットも引き続き皆様のお役に立ち、住宅市場を盛り上げることができるよう、今年も様々な商品企画・商品改良を計画しています。今回はその一部をご紹介します。

DAN壁 コストパフォーマンス高める

1年前から本格販売を開始した湿式仕上げ用透湿断熱パネル『DAN壁』(だんぺき)は、これまでの施工実績が50棟を突破し、特に既存住宅の断熱改修にはジャストマッチするパネル製品として一定の評価を頂いています。

今年は簡単な施工で高断熱化による快適かつ省エネな居住環境と、湿式仕上げによる美しい外観デザインを実現できるというメリットを多くの方に実感して頂けるよう、コストパフォーマンスを高めるとともに、より広い地域への販売を計画。例えば北海道では部材供給元などを見直すことによって、いいものをより安く提供するとともに、エンドユーザー様が手の届きやすい価格で新築や断熱改修に採用してもらえるよう検討を進めています。

また、関東・東北など本州への拡販を本格的に開始。東北についてはすでに昨年10月に開設し

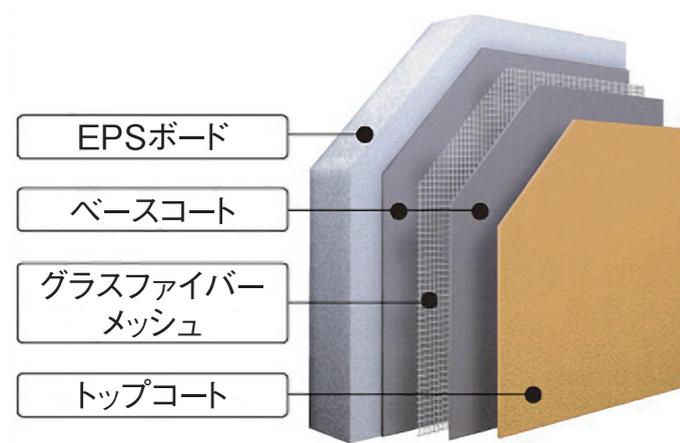
た仙台事務所を拠点とし、東北6県のハウスメーカー様・工務店様にご提案を行っているところ。すでに今春には仙台市内で『DAN壁』を採用した新築住宅3棟が着工する予定です。もちろん関東でも5支店揃って、全力で採用をサポートする考えです。

このほか、各種認定関係についても社内的に取得できるような準備を行い、皆様からの様々なご要望に応えられるようにしていきます。

ブローイング 関東でも確かな施工品質提供

住宅エコポイントをきっかけに関東でも新築や断熱改修などで注目されるようになったブローイング。北海道では天井等の断熱工法として定着していますが、関東でもさらに普及を進めていく考えです。

ブローイングは、①専用マシンで専任の施工者が断熱材を吹き込む工法なので、早く簡単に天井を断熱可能②断熱厚さを自由に設定でき、高断熱



今年はコストパフォーマンスアップなどで本格的な普及を目指す『DAN壁』



ブローイングは確かな施工品質で、関東でも天井断熱の標準工法となるよう引き続き力を入れていく

化も容易で次世代省エネ基準も簡単に対応③マット状やボード状の断熱材とは異なり、木材が入り組んだ場所や狭い場所も確実に断熱④リフォームもユーザーが暮らしたまま施工可能で、住宅エコポイントにも対応一などがメリット。

ダンネットではこれまで高断熱住宅の先進地・北海道で培ってきたブローイングのノウハウを活かし、吹込み厚さ・密度ともに確かな施工を関東でも提供していきます。

換気システム 熱交換型の採用ニーズに対応

住宅の快適性や省エネ性を高めていくにあたって、課題の一つになるのが換気による熱損失。冬場に低温の外気が室内に直接入るのを防ぐと同時に、室内の熱をムダに捨てないためには熱交換換気の採用が考えられます。

しかし、製品によってはダクトの取り回しにかかる施工手間や熱交換素子・フィルターのメンテナンスなどが採用の障壁になることもあり、施工が簡単でメンテナンスも楽な製品に対する市場のニーズはかなり強いと言えるでしょう。

そこでダンネットでは、70秒ごとにファンが給気と排気を交互に行うダクトレス第1種熱交換換気「インヴェンター」の部材を、ご要望に応じて

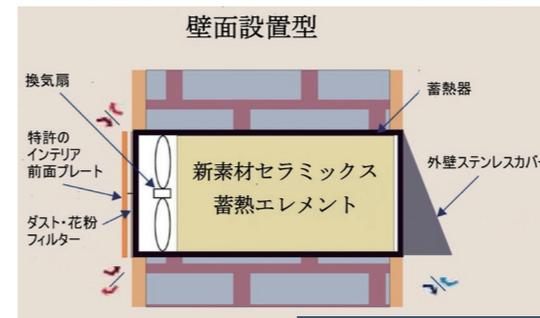
提供できるようにしました。この換気システムは、内蔵されたセラミックスの蓄熱器で排気時に熱回収し、給気時には回収した熱で新鮮外気を予熱する仕組み。夏の夜間時には熱回収せずに室内の熱気を排出する運転モードも搭載しています。30~40坪の住宅で6台程度使用し、メーカー公表の熱交換効率は最大91%、最大換気量は27m³/h(1台あたり)。

熱交換換気の採用を検討されているのであれば、ぜひ一度ご相談下さい。

その他 現場の課題や悩みをサポート

このほか、基礎の型枠兼用断熱材「かんたんベース」や「根太レスパネル」などのオリジナル商品も、性能と施工性のさらなる向上を目指すとともに、ノンホルムアルデヒドで健康性が高い壁・天井等の吹込み断熱材「アクリア」の取り扱いを開始するなど、新しい断熱材にも積極的に対応。

また、ハウスメーカー様・工務店様が「こんな製品があったらいい」「この部分の施工をもっと簡単にしたい」などといったご要望やご相談がありましたら、どんどんダンネットにお声をかけて下さい。皆様の声を受け止めて、ご期待に応えられる製品・サービスを提供できればと思います。



ダクトレス第1種熱交換換気システムの「インヴェンター」。要望に応じて部材供給を行う



「かんたんベース」や「根太レスパネル」などの製品もブラッシュアップを図ると同時に、ハウスメーカー様・工務店様から寄せられる課題・相談などにも積極的に対応していく



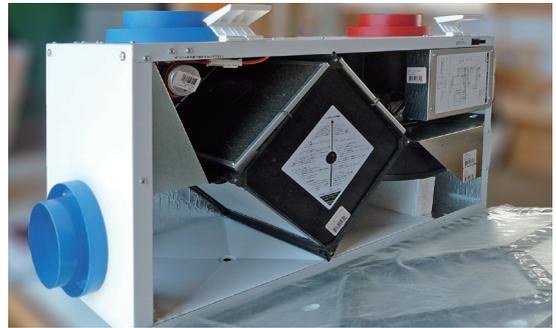
熱交換換気は顕熱型と全熱型どちらがいい？

Q…省エネ化を進めるうえで、熱交換換気システムを新たに採用することを考えていますが、顕熱交換型と全熱交換型のどちらがいいのでしょうか？

A…住宅の省エネ化は、まず躯体の断熱性能を強化することが第一ですが、断熱強化が一定のレベルまで達したら、後は換気と窓からの熱損失をいかに少なくするかということになります。

換気による熱損失低減については、熱交換換気システムの採用がポイントですが、排気の熱だけ交換する顕熱交換型と、熱と水蒸気の両方を交換する全熱交換型のどちらを選ぶかは意見が分かれるところ。

顕熱交換型は主に欧米のメーカーから販売されており、排気される汚染空気が給気に混ざる心配が少なく、水蒸気が発生するトイレや浴室からの排気も熱交換可能。全熱交換型は国内メーカーの製品が中心で、水蒸気も交換できるため冬期の過乾燥緩和や夏期の冷房節約にも効果が期待できま



水洗いできる金属製の熱交換素子を採用したカナダ製の顕熱交換型熱交換換気システム本体

す。全熱交換型は顕熱交換型より排気の臭い・雑菌などが給気に混入しやすいのではないかと指摘もありますが、排気の温度と水蒸気だけ交換できるという製品も出てきましたし、顕熱・全熱を切り換え可能な製品もあります。

どちらを選ぶかは、予算（同一メーカーなら全熱交換型のほうが割高）や居住環境・省エネ性に対する住まい手の要求などを踏まえたうえで判断したいところですが、いずれにしても熱交換効率や熱交換素子・フィルターのメンテナンス性、排気が給気に混ざる割合（リーク率）、消費電力などを比較して選ぶのがいいでしょう。

●編集●後●記●

◆新しい年を迎え、皆様も仕事への決意を新たにしていることと思います。当社も今まで以上に皆様のお役に立てるよう、より良い製品・サービスを提供していく所存ですので、今年もよろしくお願ひ申し上げます。（野村）

◆住宅市場は穏やかな回復傾向が続いているようですが、リーマンショック前と比べたらまだまだ低い水準にとどまっています。今年こそV字回復までいかなくても、笑顔で振り返られる1年になってほしいものです。（水越）



株式会社ダンネット

ホームページURL <http://www.dan-netso.co.jp/>
E-mailアドレス info@dan-netso.co.jp

「快適な住まいづくり」はお任せ下さい！

- ブローイング工事各種
- 外断熱工事
- 気密工事
- ウレタン吹付工事
- 断熱建材製造販売
- 住宅性能診断

■本 社	〒070-8045 旭川市忠和 5 条 4 丁目 9-17	TEL(0166)61-9151 FAX(0166)61-2044
■旭川第一工場	〒071-1248 上川郡鷹栖町 8 線西 2 号	TEL(0166)87-4442 FAX(0166)87-4888
■旭川第二工場	〒070-0014 旭川市新星町 5 1 4 番地 1	TEL(0166)21-7080 FAX(0166)21-7080
■札幌支店	〒003-0869 札幌市白石区川下 2127 番地 4	TEL(011)875-3966 FAX(011)875-3971
■外断熱事業部	〒003-0869 札幌市白石区川下 2127 番地 4	TEL(011)875-3969 FAX(011)875-3971
■ウレタン事業部札幌事務所	〒003-0869 札幌市白石区川下 2127 番地 4	TEL(011)875-3972 FAX(011)875-3974
■旭川支店	〒070-8045 旭川市忠和 5 条 4 丁目 9-17	TEL(0166)62-7575 FAX(0166)61-1715
■帯広支店	〒080-2460 帯広市西 20 条北 2 丁目 27-10	TEL(0155)41-4101 FAX(0155)41-4105
■釧路支店	〒088-0621 釧路郡釧路町桂木 5 丁目 15	TEL(0154)36-1790 FAX(0154)36-1844
■北見支店	〒099-0878 北見市東相内町 174 番地 16	TEL(0157)36-3557 FAX(0157)36-3433
■北関東支店	〒362-0047 埼玉県上尾市今泉 1 丁目 27-4	TEL(048)783-1666 FAX(048)783-1667
■千葉支店	〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町 16 番 2	TEL(043)258-4065 FAX(043)258-4025
■宇都宮支店	〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町 362-6	TEL(028)636-1266 FAX(028)636-2675
■平塚支店	〒254-0018 神奈川県平塚市東真土 4 丁目 2-69	TEL(0463)54-6484 FAX(0463)54-2430
■水戸支店	〒310-0841 茨城県水戸市酒門町字西割 4312-3	TEL(029)248-6761 FAX(029)248-6762
■ウレタン事業部東京支店	〒351-0002 埼玉県朝霞市下内間木 301 番地	TEL(048)458-1455 FAX(048)456-3877
■仙台事務所	〒983-0037 宮城県仙台市宮城野区平成 2-18-38	TEL(090)1378-5494 FAX(048)783-1667
■ダンネット信州	〒399-0033 長野県松本市大字笹賀 5130-1	TEL(0263)26-0811 FAX(0263)26-1016